



Press Information

VPR08-012

2008年2月29日(金)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン @ ジュネーブ モーターショー2008

伝説のスポーツカー「シロッコ」の世界プレミア

低燃費ディーゼル ハイブリッドのコンセプトカー「ゴルフTDI ハイブリッド」(3.4リッター/100km)お披露目

ウォルフスブルグ・ジュネーブ、2008年2月28日

フォルクスワーゲンは、3月4日(火)から開催されるジュネーブ モーターショーで、5車種の世界初公開モデルを発表します。ショーのハイライトとしてセンターステージに上がるのは、新開発されてオールラウンドなスポーツカーとなって帰ってきた「シロッコ」です。また、「ゴルフTDI ハイブリッド」もデビューします。このコンセプトカーは、100km走行するのにわずか3.4リッターの燃料しか必要としません。さらに、天然ガス燃料車の技術革新を具現しているのが150PSを誇る「パサート ヴァリアント TSI エコフューエル」の世界プレミアです。また、燃料効率に極めて優れた「シャラン ブルーモーション」(燃料消費量6.2リッター/100km)や4輪駆動の「ゴルフ ヴァリアント 4モーション」も初展示され、フォルクスワーゲンによる4ドアクーペ「パサートCC」もヨーロッパ初公開となります。

第一世代の「シロッコ」がデビューしたのは34年前、それも同じジュネーブ モーターショーでした。そして今回、この伝説的な2ドアモデルが復活します。ルーフを延長したことにより、新型「シロッコ」は大人4名を乗せる余裕を持ち、毎日使えるスポーツカーとしての性格を備えています。「シロッコ」に採用されるのは、高トルクと低燃費を特徴とする3種類のTDIおよびTSIエンジンで、その出力は90kW/122PSから147kW/200PSに至ります。この新しいスポーツカーは、「ダイナミック ドライブコントロール」を始めとする数々の革新的テクノロジーも搭載しています。

フォルクスワーゲンは先進のディーゼルエンジン、電気モーター、7速DSGトランスミッションの組み合わせによる高い省エネルギー性能を秘めた「ゴルフ TDI ハイブリッド」を展示します。ジュネーブ モーターショーで初公開されるこのコンセプトカーが、100km走行するために消費するディーゼル燃料はわずか3.4リッターです。フル ハイブリッドカーとして設計された「ゴルフTDI ハイブリッド」は、パワフルで経済的なTDIエンジンだけを使用した走行および、TDIエンジンと電気モーターを併用したミックスモードでの走行の両方で卓越した性能を発揮します。また、完全にエンジンを停止して排出物質ゼロの電気モードで走行することも可能です。フロントアクスルへのパワー伝達は7速DSGトランスミッションにより制御されます。市街地走行時に車両が止まると、ターボディーゼルエンジンはオートマチック スタート/ストップ機構により自動的に停止します。

ジュネーブで初公開される「パサート ヴァリアント TSI エコフューエル」は、天然ガス車の新時代を先取りするモデルです。天然ガスは環境に優しく経済的な燃料ではありますが、今までの天然ガス車の性格は、必ずしも親しみやすいものとはいえませんでした。しかし、110kW/150PSのTSIエンジンを搭載した「パサート ヴァリアント TSI エコフューエル」によって、そんな時代にも終止符が打たれるのです。世界で初めて天然ガス用に設定された直噴ターボエンジンは、その高性能にも関わらず、100km走るのにわずか5.2kgの燃料しか必要としません。「パサート」および「パサート ヴァリアント TSI エコフューエル」の欧州における市販開始は、年末を予定しています。

ジュネーブモーターショー プレスデーの2日間、現地会場ではVGJ広報部のスタッフがフォルクスワーゲン ブースで皆さんのご来場をお待ちしておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

— 記 —

会場	フォルクスワーゲン ブース (ホール2)	
VGJ広報部の現地連絡先	ドロテア ガストナー	tel. + 81-90-5036-4500
	三浦 佳世	tel. + 49-160-711-4809